

# Campus News

No.

93

June  
2026



特集  
通学エリア分布

INTERVIEW 卒業生インタビュー

「オブスタクルスポーツで  
世界を舞台に戦う」

RIKKYO NIIZA



立教新座中学校・高等学校

# どこから通ってる? 通学エリア分布

TOKYO SAITAMA KANAGAWA CHIBA TOCHIGI GUMMA

立教新座は中高ともに、生徒の通学区域、通学時間に制限はありません。

では、生徒たちはどこから通っているのでしょうか?

2026年4月1日現在の全校生徒の情報から探ってみました。

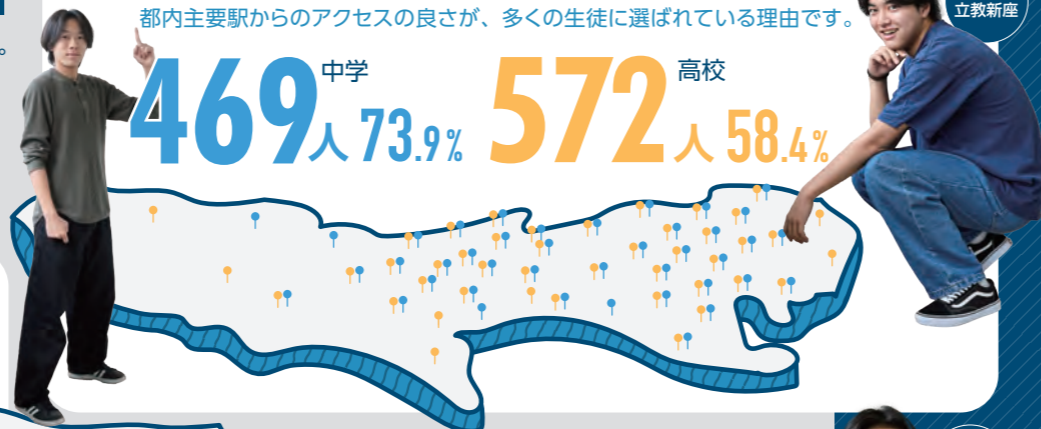
みなさんがお住まいの地域にも立教新座生がいるかもしれません。

## TOKYO

都内からの通学が中心

中学・高校ともに、最も多いのが東京エリアからの通学。  
都内主要駅からのアクセスの良さが、多くの生徒に選ばれている理由です。

469人 73.9% 572人 58.4%



江戸川区から通っている、通学時間は7時間くらい。男子校という環境と綺麗なサッカーグラウンドに惹かれて入学しました。[高3]

中学から立教新座

高校から立教新座

Student Distribution by Area

2026年4月1日現在

## 市区町村別通学データ

地域ごとの分布を見ると、通学圏が想像以上に広がっていること、そして実際に通える距離であることがわかります。

東京都

23区	中学	高校	23区外	中学	高校
千代田区	3	7	八王子市	8	6
中央区	14	16	立川市	4	4
港区	13	13	武蔵野市	10	13
新宿区	23	29	三鷹市	5	8
文京区	22	22	青梅市	1	0
台東区	6	10	府中市	6	7
墨田区	3	5	昭島市	3	1
江東区	14	19	調布市	0	9
品川区	8	11	町田市	0	4
目黒区	15	18	小金井市	5	11
大田区	9	9	小平市	6	5
世田谷区	32	48	日野市	3	3
渋谷区	14	12	東村山市	3	5
中野区	10	9	国分寺市	6	9
杉並区	24	31	国立市	2	2
豊島区	42	19	狛江市	1	2
北区	15	10	東大和市	1	2
荒川区	3	8	清瀬市	2	3
板橋区	36	39	東久留米市	6	12
練馬区	60	87	多摩市	0	3
足立区	17	13	稲城市	1	0
葛飾区	0	3	羽村市	1	0
江戸川区	0	4	あきる野市	0	1
	383人	442人	西東京市	12	18
	60.3%	45.1%	西多摩郡	0	2
				86人	130人
				13.6%	13.3%

埼玉県

	中学	高校		中学	高校
さいたま市	36	64	横浜市	3	16
川越市	7	9	川崎市	7	24
熊谷市	0	2	相模原市	0	2
川口市	12	37	鎌倉市	0	1
行田市	0	1	小田原市	0	1
所沢市	11	18	茅ヶ崎市	0	1
飯能市	2	0		10人	45人
加須市	0	2		1.6%	4.6%
東松山市	0	1			
春日部市	1	1			
狭山市	1	3			
鴻巣市	1	2			
上尾市	5	3			
草加市	6	2			
越谷市	8	13			
蕨市	2	3			
戸田市	7	9			
入間市	0	5			
朝霞市	15	41			
志木市	7	27			
和光市	5	16			
新座市	4	44			
桶川市	0	2			
久喜市	2	1			
八潮市	1	0			
富士見市	3	11			
三郷市	1	4			
蓮田市	1	0			
坂戸市	1	0			
鶴ヶ島市	0	1			
日高市	1	1			
ふじみ野市	2	8			
白岡市	1	0			
入間郡	0	4			
比企郡	0	2			
北葛飾郡	0	1			
	143人	338人			
	22.5%	34.5%			

神奈川県

	中学	高校
横浜市	3	16
川崎市	7	24
相模原市	0	2
鎌倉市	0	1
小田原市	0	1
茅ヶ崎市	0	1
	10人	45人
	1.6%	4.6%

千葉県

	中学	高校
市川市	1	4
船橋市	0	3
松戸市	2	3
柏市	2	3
流山市	5	4
浦安市	1	5
	11人	22人
	1.7%	2.2%

栃木県

	中学	高校
宇都宮市	2	1
	2人	1人
	0.3%	0.1%

群馬県

	中学	高校
前橋市	0	1
邑楽郡	0	1
	0人	2人
	0.2%	0.2%

## SAITAMA

近隣だけでなく東西エリアから通学

東武東上線とJR武蔵野線の2路線が利用できるから、近さ、通いやすさを生かした通学圏が広がっています。

143人 22.5% 338人 34.5%



三郷市からは約7時間。陸上競技部が強豪として有名なこともあって立教新座を選びました。今年もインターハイ出場を目指します! [高3]

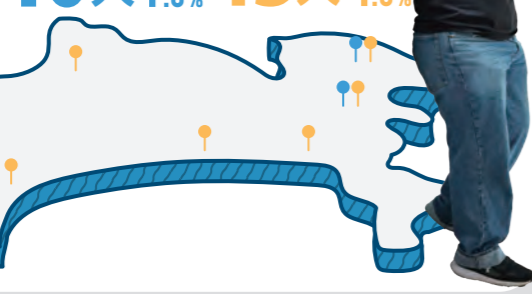
## KANAGAWA

神奈川県は広範囲から通学

都心経由や武蔵野線を利用して幅広い地域から通学しています。

横浜から約7時間かけて通学。付属校でラグビー部があること、高校から私服登校ができる自由な校風に惹かれて立教新座を選びました。[高3]

10人 1.6% 45人 4.6%



武蔵野線を使って川崎市から通っています。部活の両立もできますよ。[中2]

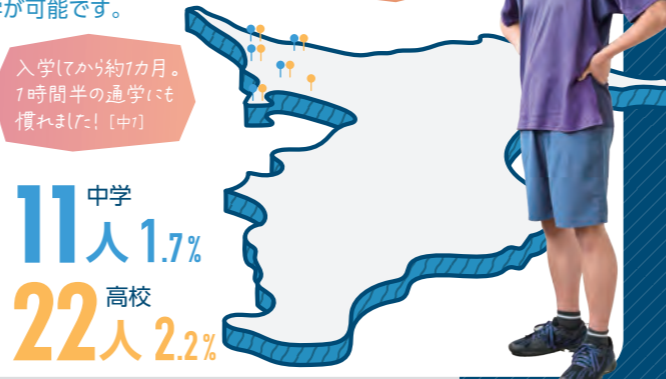
## CHIBA

千葉方面からは武蔵野線を利用

地域によっては少し時間はかかるものの、乗り換えが少なく、無理のない通学が可能です。

柏からは約7時間。大学付属であることや、自由な校風、綺麗な施設環境に魅力を感じて立教新座を選びました。[高2]

11人 1.7% 22人 2.2%



入学してから約7カ月。7時間半の通学にも慣れました! [中1]

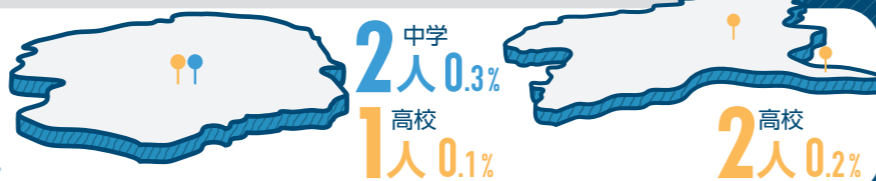
## TOCHIGI / GUMMA

栃木・群馬など、遠方からの通学例も

栃木県宇都宮市からは、毎年1~2名の生徒が通学。群馬県前橋市や近年では茨城県つくば市、取手市などからの通学実績も。自身の目標に向けた進路選択といえます。

2人 0.3% 1人 0.1%

2人 0.2%



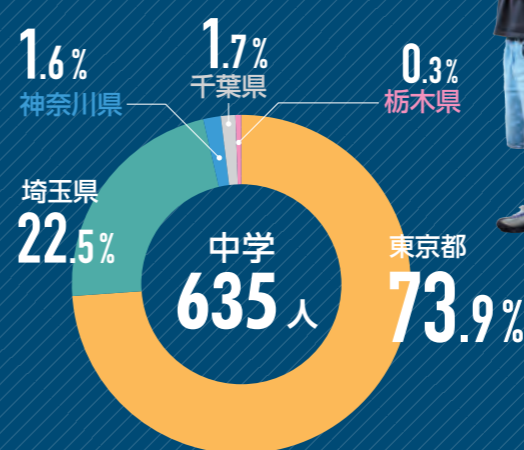
## interview

通学時間も、自分を成長させる時間。

世田谷区から、片道約1時間半かけて通学しています。立教新座を選んだ理由は、野球にしっかり打ち込める広いグラウンドや充実した施設があったこと、学校見学の時に「授業が楽しそう」と感じたことです。中高一貫校なので、受験に追われず、のびのびと野球に集中できる環境にも魅力を感じました。通学中は、英語のリスニングをしたり、興味のある本を読んだりして過ごしています。移動時間が長いからこそ、音楽を聴くことも増えて、今ではギターを弾くのが趣味になりました。長い通学時間も、ただ大変なだけではなく、自分の好きなことや新しい興味を見つけられる時間だと思っています。[高2]

Area Distribution

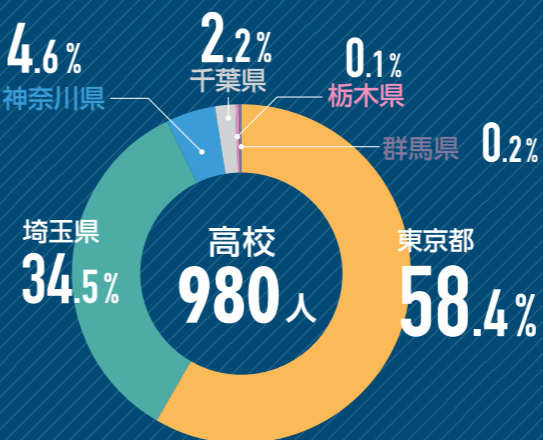
## 通学エリア構成比



志木駅派? 新座駅派?

26年4月入学生\*に見る利用駅

\*立教新座中学校からの入学者は含まず



2026年度入学者	中学	高校	中高合計
新座駅利用	85人 37.8%	41人 32.8%	126人 36.0%
志木駅利用	137人 60.9%	72人 57.6%	209人 59.7%
その他 <small>(徒歩、自転車、バスなど)</small>	3人 1.3%	12人 9.6%	15人 4.3%



INTERVIEW 卒業生インタビュー

早稲田大学 創造理工学部1年

今井 優雅 さん

Yuga Imai

Profile

- 2023年 4月 立教新座高等学校入学
- 2025年 9月 World Obstacle UIPM 2025  
OCRワールドチャンピオンシップス出場
- 2025年12月 SASUKE甲子園2025出場
- 2026年 3月 立教新座高等学校卒業
- 2026年 4月 早稲田大学創造理工学部総合機械工学科入学

オブスタクルスポーツで世界を舞台に戦う

ものづくりの探求のため早稲田大学へ進学

立教新座高等学校卒業後、早稲田大学創造理工学部へ入学しました。総合機械工学科への進学を決めたのは、機械やものづくりに携われる点、そして、座学だけでなく実際に手を動かして学ぶ点に強く惹かれたからです。入学してまだ1カ月ほどですが、期待していた通りの充実した学生生活を送れています。

ものづくりへの関心が高まったのは、「SASUKE」というテレビ番組がきっかけです。人々がフィールドアスレチックに挑む姿に感動し、自分も選手として参加したいとトレーニングを開始。トレーニング用の設備を自作したところ、ものづくりの楽しさに目覚めたのです。

アスレチック、ものづくり、さらには部活動で取り組んでいた卓球など、中学生の時からいろいろなことに夢中になっていました。そんな時、自由な校風の立教新座を知り、「この学校ならやりたいことに何でも挑戦できる」「自分らしさを磨ける」と進学しました。

オブスタクルスポーツとの出会いと挑戦

「オブスタクルスポーツ」は「SASUKE」から派生した競技です。私がこの競技に出会ったのは、高校2年の時。遊びに行ったアスレチック施設で、スタッフの方に教えていただいたのが始まりです。それからは頻りに施設に通い、自宅の設備も改装してトレーニングを本格化させていきました。

高校3年の4月に、初めて参加した大会で男子シニアクラス上位入賞を果たし、なんと、世界大会「World Obstacle UIPM 2025 OCR ワールドチャンピオンシップス」に挑戦することができました。結果は、予選を突破できたものの、決勝トーナメントで満足のいくレースができず、とても悔しかったです。しかし、自分が世界を舞台に戦う日が来るとは夢にも思っていなかったため、自身の成長を感じられる大会にもなりました。

自分の可能性を広げられる環境

高校生活で特に思い出に残っているのは、3年の12月に友人2人と参加した「SASUKE 甲子園 2025」です。残念ながら2ndステージで敗退。この時も悔しさの残る結果にはなってしまいましたが、3人で特訓した日々や1st

ステージを突破して喜びを分かち合った瞬間は、何ものにも代えがたい時間でした。

友人たちは、それまでオブスタクルスポーツとは無縁でしたが、出場を決めてからは日々練習に励み、着実に力をつけていったのです。2人のように、立教新座の生徒は自分の好きなこと、やってみたいことに熱中し、活躍している人がとても多いと感じます。スポーツやゲーム、学業など、自分の興味を突き詰めている人はたくさんいます。物理や数学が好きだった私も、選択科目では積極的に理系科目を履修していました。好きなことに熱中できる環境だったからこそ、他大学進学という道も開かれたのだと思います。

高校3年間で、かけがえのない友人や恩師はもちろん、オブスタクルスポーツを通じてさまざまな人との出会いもありました。たくさんつながりや自分の「好き」を力に変え、今度は世界戦でメダルを獲得できるよう特訓を続けていきたいです。



Read more...



「SASUKE 甲子園 2025」で。左から開沼大和さん、今井さん、古澤廉さん

立教新座公式Webサイト・SNS

<p>公式Webサイト</p>	<p>公式LINE</p>	<p>公式Facebook</p>	<p>公式Instagram</p>	<p>公式note</p>
-----------------	---------------	-------------------	--------------------	---------------